

## 印西大師 第55番 戸神・薬師堂

1 名称 (No.055)〔手引鏡：薬師堂〕〔資料館：薬師堂〕〔行程表：薬師堂〕

2 場所 印西市戸神869 戸神集会所

船尾・東光院から道程約1,510m

GPS座標 35.785986284060705, 140.11516325512804

3 由緒 天台宗

堂ノ下869にあり天台宗で安養寺に所属し、薬師如来を本尊とする。(平成6年寺院堂庵明細表)

4 御堂 第55番大師堂の中に丸彫りの御大師様が1体あり。その隣には番外の大師堂があり、中に丸彫りの御大師様が1体あり。さらに、その東の集会所の左前には、石柱内蔵の御大師様1体あり。計3体あり。

5 境内 印西大師小廻り大師結願と戸神薬師講の標柱がある。お堂の横の階段を登った先には戸神・宗像神社がある。

6 写真 (2023.01撮影)



大師堂 (第55番)



御大師様 (第55番)



大師堂 (右第55番、左番外)



大師堂 (番外)



御大師様 (番外)



戸神集会所が薬師堂か？



石柱内蔵の御大師様



石柱内蔵の御大師様



石柱内蔵の御大師様

## 7 情報

### (1) 印西大師 第55番 堂 御詠歌（泉倉寺本による）

此処(このところ)見し間(三島)に夢の覚(さ)めぬれば 別宮とてもおなじ垂迹

四国八十八ヶ所 第55番 真言宗御室派 別宮山(べっくさん) 金剛院 南光坊(なんこうぼう) 写し

### (2) 江戸時代に造立

印西町調査報告書(追録)によれば、「堂ノ下八六九 戸神青年館」の第55番の御大師様は台座左側に文政13年(1830年)の造立年と20人余りの造立者の名があり、また、番外の御大師様は台座右側に天保12年(1841年)の造立年と造立者1名の銘があるとのこと。どちらも江戸時代に造立されたものである。

### (3) 小廻り大師

「武西や船尾を中心とする船穂地区の小廻り大師がある。春秋の彼岸に行われているところから彼岸大師ともいわれ、印西大師にならって善男善女の巡礼が行われている。」(印西町史)

### (4) 番外の大師堂

手引鏡には、第55番薬師堂の次の札所は「△ 同(戸神) たいしとう(大師堂)」である。安養寺に向かって1丁半17間(195m)先である。現在の北印測量設計の手前くらいにあったと思われるが、それらしき御堂が見つからない。番外の大師堂はこれを移転したものだろうか。